

# Clopayガレージドア 施工説明書

(W8' X H8'、W9' X H8' 用)



ハウディー株式会社

## 《目次》

・《重要》ガレージドアを取り付ける前に	.....2
・ガレージドア基本 開口・下地位置図	.....3
・必要な工具・必要な材料(本体に含まれず別途必要なもの)	.....4
・ガレージドア本体の取り付け	.....5
・電動モーターの取り付け	.....14
・各種配線の結線	.....17
・電動モーター、リモコンの設定	.....18

## 《重要》 ガレージドアを取り付ける前に…

①ガレージドアを取り付ける場所の条件を確認してください。

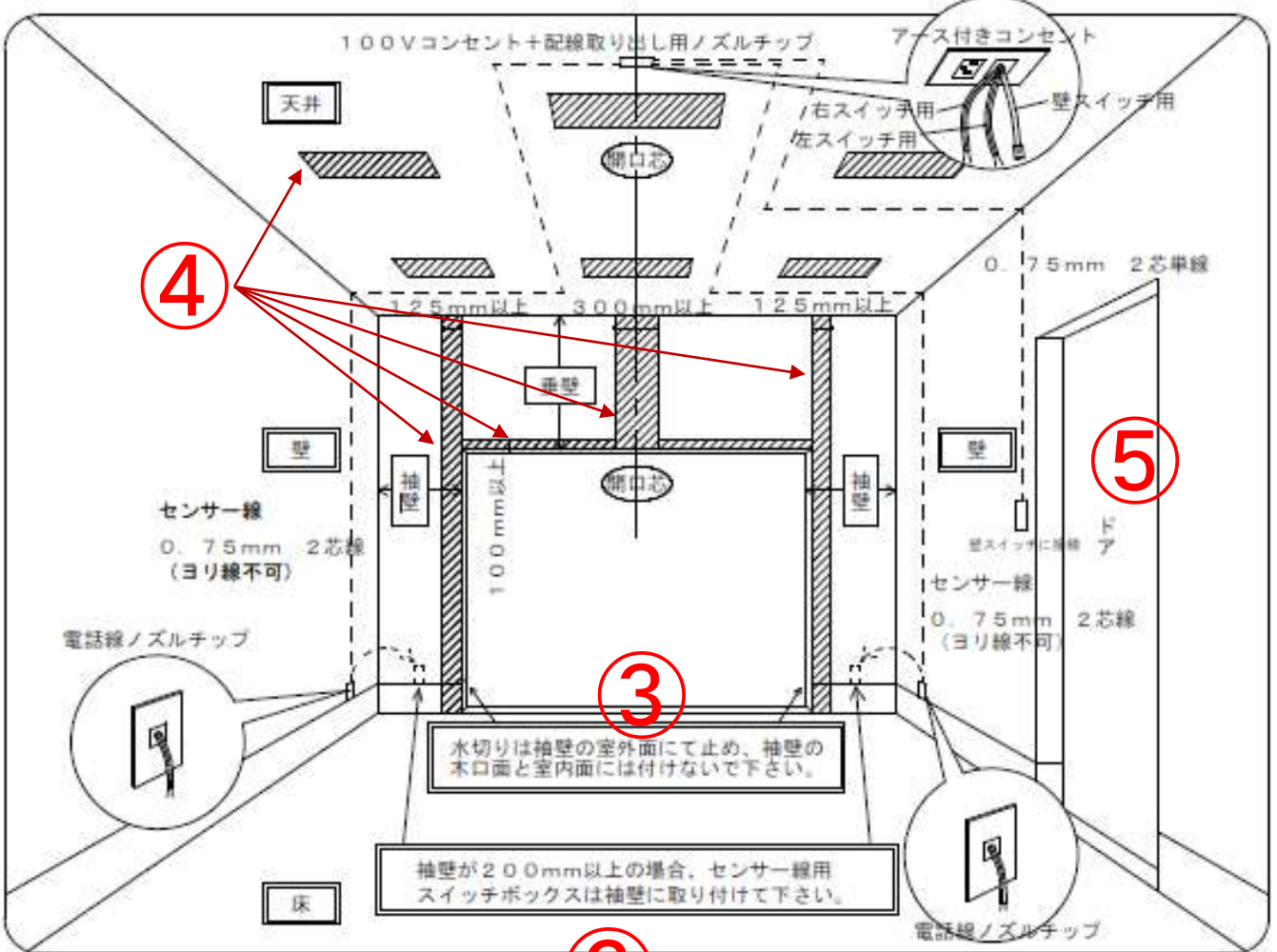
- ガレージドアの他に1ヶ所以上出入り口はありますか？  
(3ページ ⑤)
- 開口の幅・高さの寸法が適正ですか？(3ページ ①)
- 取り付け面の垂れ壁、袖壁は十分な寸法ですか？(3ページ ②)
- 取り付け面、開口の木口面に段差はありませんか？(3ページ ③)
- 下地の位置は適正ですか？(3ページ ④)
- 各配線の取り出し口は適正ですか？



②ガレージドアを確認する

- ガレージドア、電動モーターなど必要な部材は入っていますか？  
(別添:ガレージドアパーツリスト)
- ガレージドア本体のサイズは合っていますか？

# ガレージドア 基本 開口・下地位置図



垂壁、袖壁の三方壁は、天井から仕上げ土間まで段差なく仕上げて下さい。

取付下地：取付下地は壁仕上げボードの裏に空間を空けずに設置して下さい。

開口寸法 (幅) : ドア寸法 (幅) - 10mm  
 開口寸法 (高) : ドア寸法 (高) - 40mm

### 《ガレージドア 納まり必要スペース》

レール種類	垂壁	袖壁	奥行スペース
スタンダード	400mm以上	150mm以上	3,900mm以上
ローヘッド	250mm以上	150mm以上	3,900mm以上

## 《必要な工具》

・脚立・・・3尺、6尺



・インパクトドライバー(要各種ビット)



・電動ドリル



・ディスクグラインダー(ベビーサンダー)



・コンクリートドリル



・スケール



・延長コード



・水平器



・プライヤー



・M12 長さ300mm程度のボルト x2本



## 《必要な材料(本体に含まれず別途必要なもの)》

・オールアンカー C-850-50

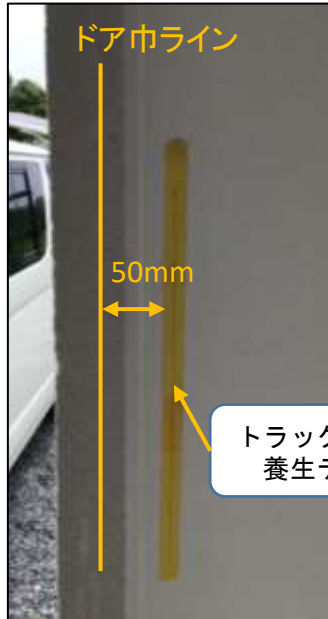
・M8x25 ボルト+ナット+ワッシャー

・M8x50mm コーチボルト

## 《ガレージドア本体の取り付け》

### ①トラックレール・トラックブラケットの取り付け

- ①-1 トラックブラケット[1]の取り付け位置出し  
 左右ドア幅+50mmの位置に墨出しをする  
 →トラックブラケットの取り付けライン



トラックブラケットライン  
養生テープにて墨出し

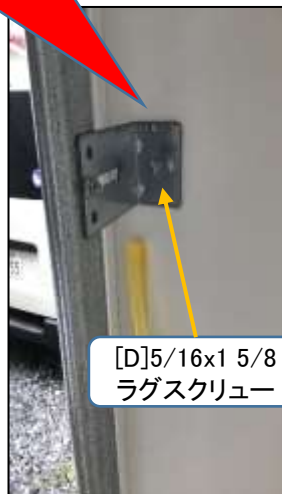


- ①-2 トラックブラケット[1]・トラックレール[2]の取り付け  
 墨出したラインに沿ってトラックブラケット[1]を取り付ける  
 トラックブラケット[1]は下から#5、#6、#7の順に使用  
 取り付け高さはレールの穴の位置に合わせる

**下地の確認！！**



トラックレールの下端  
は土間から5mm程度  
浮かせる



[D]5/16x1 5/8  
ラグスクリュー

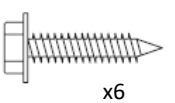
50mmのラインの位  
置にトラックブラケット  
を合わせる

ブラケットの高さは  
レールの長孔の位置

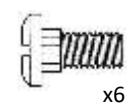


[B]1/4x5/8トラックボルト  
+  
[B']1/4フランジナット

※ここでは仮締め。  
ドアパネルを設置した後に  
本締め



x6



x6



x6



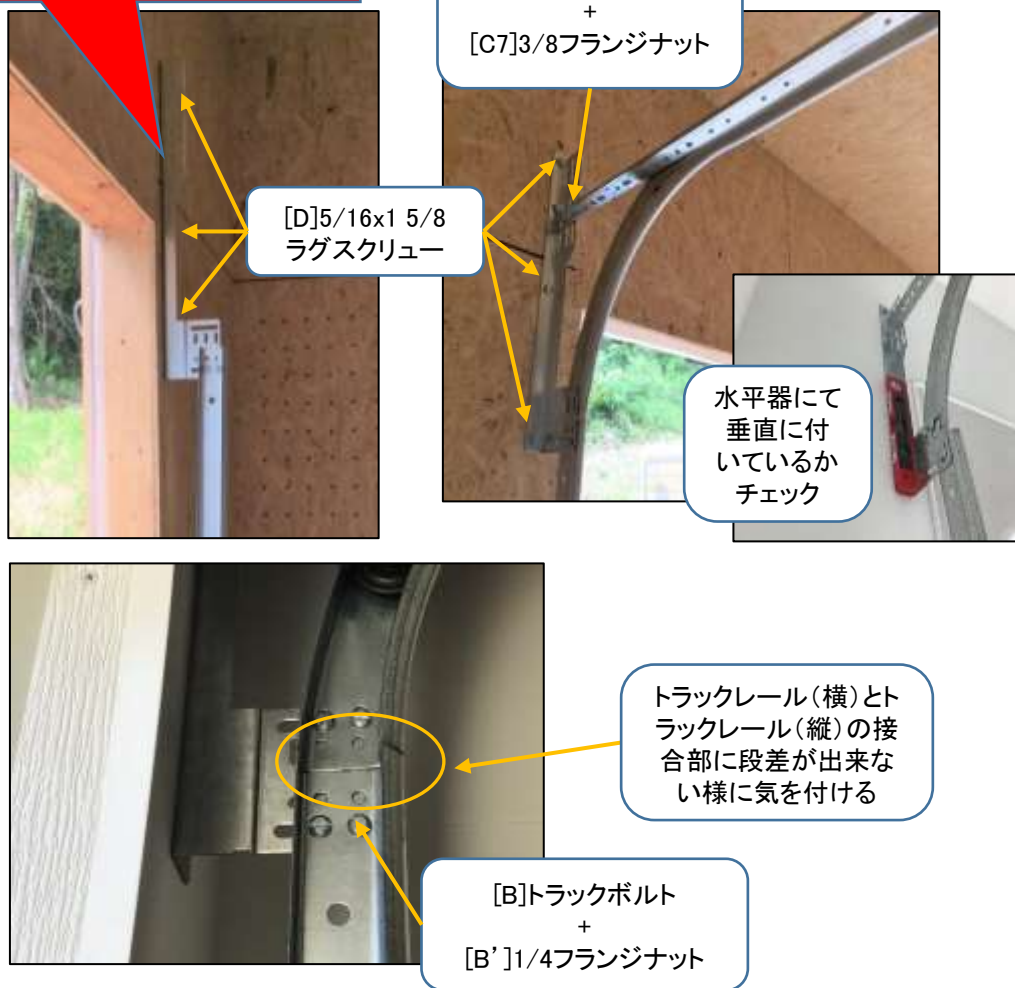
①-3 トラックブラケット[1]にトラックレール(縦)[2]を取り付け



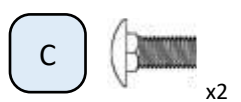
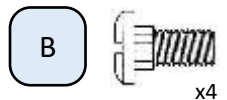
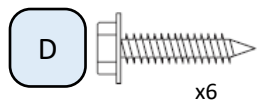
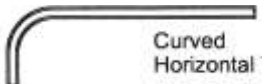
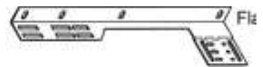
トラックブラケット[1]が上にいく程大きくなるので、レールと壁との距離も大きくなる

①-4 フラッグブラケット[3]、トラックレール(横)[4]を取り付ける

**下地の確認！！**



必要な材料・工具



①-5 エンドベアリングプレート[5]を取り付ける



[D]5/16x1 5/8 ラグスクリュー

[C]3/8-18x3/4  
カリッジボルト  
+  
[C']3/8六角ナット

[H]3/8-16x3/4六角ボルト  
+  
[C']3/8六角ナット

①-6 補助アングル[6]でトラックレール(横)[4]の端部を固定する

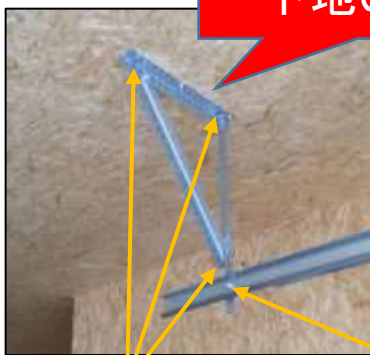
補助アングル[6]を直角三角形に形作りボルト+ナットで固定する  
水平レールから天井までの距離によりサイズは異なるので現場に合わせて大きさを調整する。



水平器を使用して、水平レールが水平になるようにする。  
天井からの距離を測りアングル材をカットして左下の写真のような直角三角形を作り天井に固定しレールを吊る。



M8X25ボルト+ナット+ワッシャーにて固定(オプション)



下地の確認！

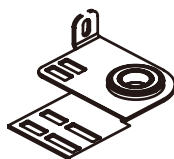
M8x50mm  
コーチボルト  
(オプション)

[B]1/4x5/8 トラックボルト  
+  
[B']1/4 フランジナット

必要な材料・工具



5



D



x2

H



x4

C



x2

C'



x6

6

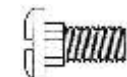


I



x6

B



x2

B'



x8



①-7 センターベアリングプレート[7]の取り付け

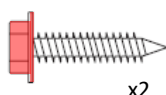
必要な材料・工具



7

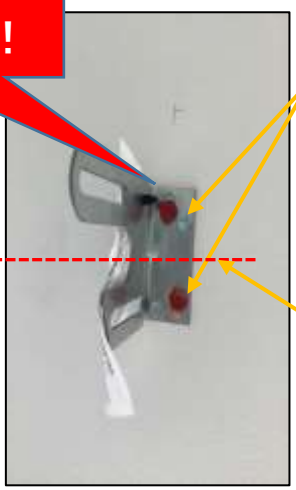


E



x2

**下地の確認！**



[E]5/16x1 5/8 ラグスクリュー  
(レッドヘッド)

高さはこの位置をエンドベアリングプレートの穴の高さに合わせる。  
幅は開口の中央の位置に取り付ける。

①-8 トーションチューブ[8]、トーションスプリング[9]、ケーブルドラム[10]の取り付け

トーションチューブ[8]に、ケーブルドラム[10]、ナイロンベアリング[F]、トーションスプリング[9]、ケーブルドラム[10]を通し、エンドベアリングプレート[5]、センターベアリングプレート[7]に設置する。



8



9



10



F

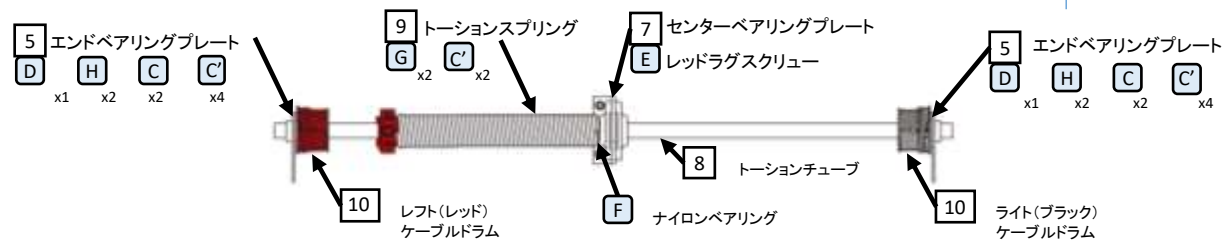


x1

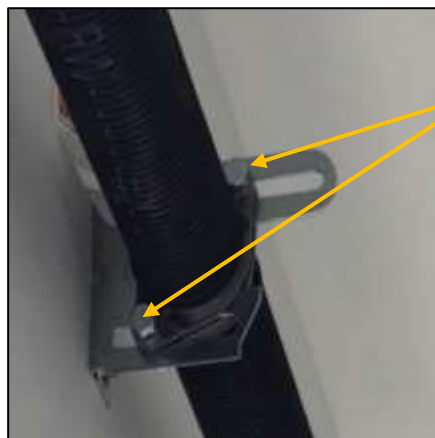
この寸法を左右均等にする



ケーブルドラム付属のボルトは内側に向ける



①-9 トーションスプリング[9]をセンターベアリングプレート[7]に固定する



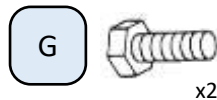
[G]3/8x1インチ ヘックスヘッドボルト  
+  
[C']3/8フランジナット



このボルト

この段階ではケーブルドラムとトーションスプリングの  
赤いボルトはまだ締めない

必要な材料・工具



## ②ドアパネルの取り付け

ドアの各パネルの高さ

最下パネル: 533mm、2・3・4段目 457mm、5段目 533mm

※最下パネルの下端には黒いゴムパッキンがついています。

### ②-1 最下パネルの設置、ボトムブラケット[11]とヒンジ[14]の取り付け

ボトムブラケット[11]にローラー[12]を通し、1番下のドアパネル  
両端下に取り付ける。

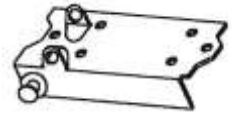
ドアパネル上部の両端、中央の下穴部分に#1の刻印がある  
[14]ヒンジを取り付ける。

インサイドステッププレート[20]を下端中央に取り付ける。

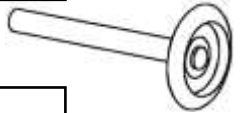
必要な材料・工具



11



12



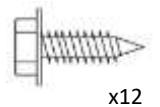
14



13



A

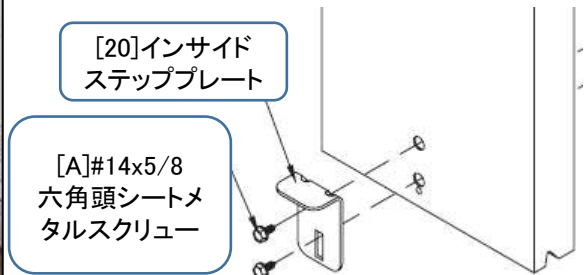


x12

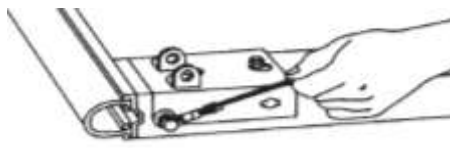
20



[A]#14x5/8 六角頭シート  
メタルスクリュー



また、ケーブル[13]の輪っか部分をボトムブラケット[11]に引っ掛けておく。



②-2 2段目以降パネルの設置、ヒンジの取り付け

2段目のパネルを置き、ヒンジを取り付ける。



[A]#14x5/8 六角頭  
シートメタルスクリュー



中央部のヒンジは常に[14]#1ヒンジ  
2段目のパネルの両端上に[15]#2  
ヒンジ



3段目以降も同様にパネルを置き、ヒンジを取り付ける。



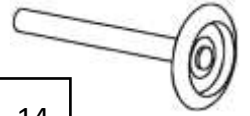
中央部のヒンジは常に[14]#1ヒンジ  
2段目のパネルの両端上に[15]#2ヒンジ  
3段目のパネルの両端上に[16]#3ヒンジ  
4段目のパネルの両端上に[17]#4ヒンジ

最上段のパネルに[18]トップ  
ブラケットを取り付ける。  
高さは[12]ローラーがレール  
に納まる位置。

必要な材料・工具



12



14



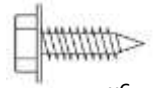
#1 Hinge

15



#2 Hinge

A



x6

16



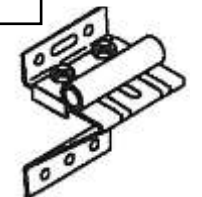
#3 Hinge

17

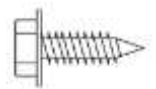


#4 Hinge

18



A



x44





### ②-3 ドアパネルの吊り込み

ケーブルドラム、トーションスプリングを固定する際にトーションチューブが回らないように、プライヤーでトーションチューブをはさみ込む。



プライヤーの先で垂れ壁をキズつけないように当て布などで保護する

ケーブルをローラーの軸の外側を通して張り上げ、ケーブルドラムに引っ掛ける。ケーブルをケーブルドラムに巻き付け、赤いボルトを締めトーションチューブに固定する。その際、左右のワイヤーのテンションを均等にする。



この切り欠きにケーブルの端部を引っ掛け巻き上げる

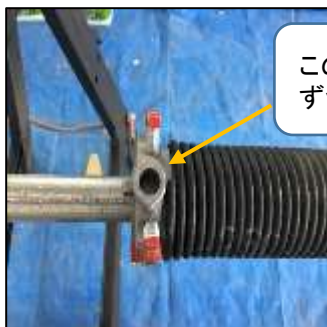


ケーブルを巻き上げピンと張った状態で赤いボルトを締める

### ②-4 トーションスプリングの固定

トーションスプリングをドアパネルの高さに応じて巻く。M12(L=300mm程度)のボルトを2本使用して、トーションスプリング端部の4つの穴を使いながら1/4回転ずつ下から上に巻き上げていく。

**トーションスプリングを巻き上げる際に手を離すとスプリングの反発で巻き上げ用のボルトが戻されるので手を離さないよう十分注意する**



この穴にM12のボルトを差し、1/4回転ずつ巻き上げていく。穴は4つ。

ドア高さ8' の場合は、**8-3/4回転**

規定の位置まで巻き上げたらその位置を保った状態で**赤いボルトをしっかりを締め、トーションチューブに固定する。**

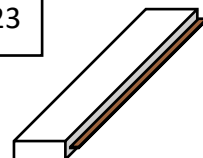
トーションスプリングを固定した後、左右のケーブルがたるむ様であれば、再度ケーブルドラムの赤いボルトを緩めてケーブルをピンと張った後赤いボルトを固定する。

## ②-5 ストップモールディング[23]の取り付け

開口部(3方)に内面合わせでウェザーストリップの薄い部分がドアパネルに触れて隙間がないように取り付ける。



23



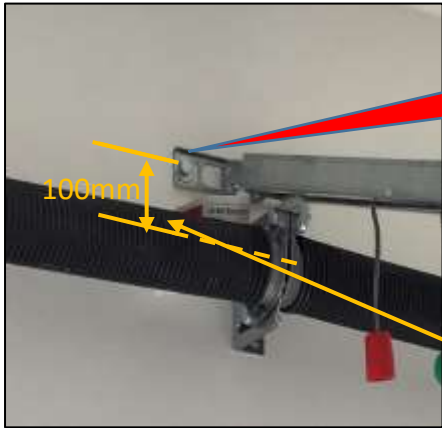
各所のボルトが締まっているかを確認し、  
ドアパネルの吊り込み完了



# 《電動モーターの取り付け》

## ③トロリーレールの取り付け

### ③-1 トロリーレールを垂れ壁に固定する



**下地の確認！**

トーションチューブの芯から100mm程度の高さにトロリーレールを固定する



### ③-2 トロリーレールに電動モーターを固定する



電動モーターに付属されているバンド(2ヶ)でモーターをトロリーレールに固定する



### ③-3 トロリーレールを天井から吊る

下地の位置に合わせてアングルを組む。高さはトロリーレールが水平になるように現場に合わせて調整する。



**下地の確認！**

水平器にてトロリーレールの水平を確認する



## ④ドアパネルとモーターの接続

### ④-1 接続部材を取り付ける

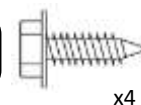
最上パネルの中央に接続部材を固定する。



21



A

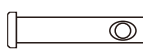


x4

### ④-2 ドアパネルとレールを緊結する



K



x1

J



x1



トロリーレールに組み込まれている  
切り替えロープ

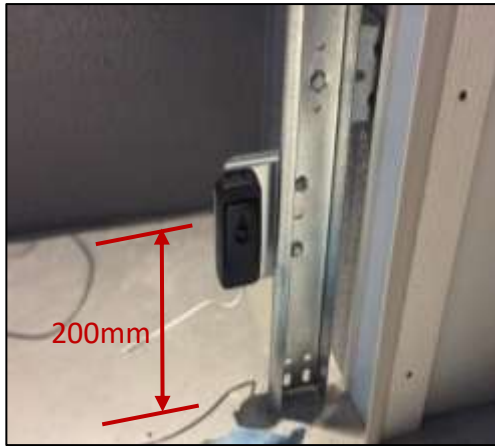
**先端が赤：  
手動への切り替え**

**先端が緑：  
電動への切り替え**

電動モーターへの結線をする前に、赤を引っ張り手動にてドアが開閉できるかをこの段階で確認する。  
開閉がスムーズでないようであればケーブルの張り具合にてドアパネルが水平になる様調整する。

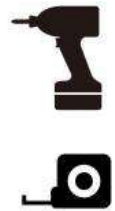
## ⑤フォトアイ(センサー)の取り付け

フォトアイをフォトアイ用ブラケットに装着し、ブラケットをレールの下端から20cm程度のところにとめる。



左右同じ高さにする

フォトアイの電線は白と灰色の2種類ある。壁から出ている電線に結線する際、本体のターミナルに結線するのがどちらか分かるように区別しておく。



## ⑥壁スイッチの取り付け

壁スイッチ裏側の端子に壁から出ている2本の電線を繋ぎ壁スイッチを壁に固定する。電線はどちらの端子でも構わない。



## 《各種配線の結線》

### ⑦結線する

フォトアイ用電線、壁スイッチ用電線を電動モーター本体のターミナルに入れ結線する。

フォトアイ用は左右それぞれの灰色を70番に、白を71番に入れる。  
壁スイッチ用は1番、2番に入れる。



フォトアイ用は左右の灰色2本を70番、左右の白2本を71番に挿入する。

壁スイッチ用は2本の指定なく1、2番に挿入する。

必要に応じて各配線はCD管などでカバーする。



# 《電動モーター、リモコンの設定》



「+」ボタン

「P」ボタン

「-」ボタン

## ⑧リモコンの設定

下記順序でリモコンの設定をする。

電動モーター背面に電源コードを差し込む

↓ (ディスプレイのアイコン表示)

電動モーター本体背面の「P」ボタンを4秒以上長押し

↓ 開き位置設定モードへ (ディスプレイのアイコン表示)

「+」ボタンで開き位置までドアパネルを開ける  
「+」ボタンと「-」ボタンで開き位置を微調整

↓

「P」ボタンを押す。開き位置を決定

↓ 下げ位置設定モードへ (ディスプレイのアイコン表示)

「-」ボタンで下げ位置を決める  
「+」ボタンと「-」ボタンで開き位置を微調整

↓

「P」ボタンを押す。閉まり位置を決定

ここで土間との接点がきつすぎると、使用している内に20cm程度ドアが戻ってしまうことがある。ドアと土間が接するギリギリに設定するのがポイント！

↓ リモコン設定モードへ (ディスプレイのアイコン表示)

リモコンの背面の●ボタンを1~2秒押す

↓

リモコンの赤いランプが点灯

↓

リモコンのボタンを押すとリモコンが感知する

↓

「P」ボタンを押す。リモコンの同期完了





## ⑨壁スイッチの動作確認

壁スイッチの各ボタンで動作を確認する



**最後にリモコンでの開閉、壁スイッチでの開閉、手動での開閉を確認する。**



## ○電動モーターの保証条件

- ・保証期間はご購入から1年間(ドアパネルは保証対象外です)。
- ・上記期間に材料の欠陥上による障害の場合は無償で修理致します。
- ・修理か交換かの判断は当社専門家の判断とします。
- ・モーターの故障による他の損害は保証の対象外です。

## ○保証対象外(保証期間内でも次の場合は保証対象外となります。)

- ・誤使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷
- ・火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
- ・建物に原因がある(躯体のゆがみ、水漏れ等)損傷、不具合
- ・車両衝突等の損傷
- ・リモコンの電池や電球等の消耗品

電動モーターのプログラム変更、微調整、リモコンのコピー、リモコンの電池等でサポートを依頼した場合や、保証対象外の要因によるハードウェア、電動開閉機、ドア本体の交換修理の際には修理費用として、製品代、運搬費、工事費等実費いただきます。

この保証は当初購入者のみ適用します。

**ハウディー株式会社**

**納入時の破損やダメージは、納入後2週間を経過した物に関してはその責任を負いかねますので、必ず納入後速やかに商品の状態をご確認願います。**

- ・故障かな?と思った場合は、状況を電話・メール等でご連絡ください。
- ・ご不明な点がございましたら電話・FAX、メール等にてお問い合わせ下さい。

**ハウディー株式会社**

〒111-051

東京都台東区蔵前2丁目5-3 筑摩書房ビル8階

TEL:03-5829-2851 FAX:03-5809-2852

<http://www.howdy-inc.com>